



総長

[総括責任者]

女性研究者育成支援推進室
 「杜の都ジャンプアップ事業 for 2013」
 「杜の都女性研究者ハードリング支援事業」
 室長:理事
 [人事労務・キャンパス環境・男女共同参画担当]

プログラムの実施

- 1) 世界トップクラス研究リーダー養成プログラム
- 2) 新ネットワーク創生プログラム
- 3) 研究スタイル確立支援プログラム

理農工系分野部局

理学系 理学・薬学・生命科学・ニュートリノ・電子光理学
農学系 農学
工学系 工学・情報科学・環境科学・医工学
 金研・流体研・通研・多元研

連携

連携

学内

男女共同参画委員会
 全学部局
 産学連携推進本部
 GCOEプログラム
 (グローバル時代の男女共同参画と多文化共生)
 大学院病後児保育室「星の子ルーム」
 学内保育園
 高等教育開発推進センター 学生相談所
 高度技術経営人材キャリアセンター
 キャリアアップ相談所

学外

宮城県内男女共同参画民間団体
 宮城・仙台父親ネットワーク
 東北6県教育委員会
 仙台市教育委員会
 東北地区の高等学校



自立し、共生し、未来を育み、サイエンスを拓く、杜の都女性研究者を育成

お問い合わせ

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1
 東北大学 女性研究者育成支援推進室

[E-mail] mh_office@morihime.tohoku.ac.jp

<http://www.morihime.tohoku.ac.jp/>



東北大学は
 男女共同参画を
 推進しています



TOHOKU LEADING WOMEN'S

JUMP
 UP
 PROJECT
 for 2013
 平成21年度文部科学省科学技術庁振興調整費
 「女性研究者養成システム改革加速事業における女性研究者支援」
 杜の都ジャンプアップ事業 for 2013

東北大学 女性研究者育成支援推進室

ご挨拶

東北大学女性研究者誕生100年、
 次なる100年にむけて



東北大学理事
 男女共同参画委員会委員長
 女性研究者育成支援推進室室長

折原 守

東北大学は大正2(1913)年、わが国の大学として初めて女性に門戸を開き、3名の女子学生を理学部へ入学させました。その伝統のもと、本学では平成13年に男女共同参画委員会を発足させ、平成14年「男女共同参画推進のための東北大学宣言」を指針に、男女格差の是正、研究・労働環境の改善、両立支援体制の充実などに努めてまいりました。

平成18年度には「女性研究者育成支援推進室」を設置し、文部科学省の委託事業として「杜の都女性研究者ハードリング支援事業」を実施してまいりました。この成果を踏まえ、平成21年度からは文部科学省の補助事業(科学技術振興調整費)として「杜の都女性研究者ジャンプアップ事業 for 2013」を実施いたします。事業の最終年度となる2013年は、まさに1913年から数えて100年目となります。1913年以降の精神を受け継ぎつつ、次の100年へのジャンプアップを可能とするような事業にしたいと考えています。

この事業では、女性研究者の能力・職階のジャンプアップを図り、世界トップリーダーとして必要な幅広い学問領域を見渡せる「自立し、共生し、未来を育み、サイエンスを拓く杜の都女性研究者」を育成することを目的として、1) 世界トップクラス研究リーダー養成、2) 新ネットワーク創生、3) 研究スタイル確立力アップの3プログラムを実施します。

私たちはこれまで、本学のみならず、杜の都仙台や県、東北地方、そして日本や世界における男女共同参画社会の実現を見据えて、種々の活動を続けてまいりました。これからも、その強い気持ちを持ちつつ事業の実施を通じて日々の活動に励んでまいりたいと存じます。どうぞ皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



杜の都 for 2013 ジャンプアップ事業 5年間で30名の新規採用を目指す

自立し、共生し、未来を育み、サイエンスを拓く、杜の都 女性研究者リーダーを育成

世界トップクラス研究リーダー養成プログラム

女性研究者に対して、「沢柳フェロー」として任命された女性教授と、各研究分野を熟知した部局教授をメンターとし、研究とキャリアアップの両面から助言・指導します。また、「沢柳フェロー」、世界中で活躍中のDistinguished Professor、学外講師によるセミナーを定期的に開催します。

複数メンター制による助言・指導

- ≫ 「沢柳フェロー」全学女性教授の中から総長が任命したキャリアモデルにふさわしい人物
- ≫ 「部局メンター」各分野の動向を熟知している所属部局教授

セミナーの開催

- ≫ 異分野融合力アップセミナー
- ≫ 組織・研究マネジメント力アップセミナー
- ≫ 研究実務能力アップセミナー



新ネットワーク創生プログラム

各部局に点在する女性研究者のコミュニティーを形成し、有効な情報の共有や、研究を積極的に発信出来るWEBネットワークシステムを構築します。また、総合大学の特色を生かした異分野間の連携や、学外研究者との交流により、研究分野を横断した次世代研究分野の開拓を目指します。

WEBネットワークシステム構築

- ≫ HPや冊子による全学女性研究者の紹介
- ≫ 女性研究者データベース
- ≫ 女性研究者ネットワーク SNS
- ≫ WEBカレンダーの設置
- ≫ 関連セミナー情報の紹介



女性研究者ネットワーク SNS



学内異分野との連携

- ≫ 科学哲学、科学技術倫理（文系・理系）
- ≫ 理科教育（大学院教育情報学研究部など）
- ≫ ジェンダー論（文学部、教育学部、法学部、医学部）
- ≫ GCOEプログラム
「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生（代表：辻村みよこ教授）」

研究スタイル確立支援プログラム

ワークショップを定期的に開催し、学内外制度の熟知やワークライフバランスについて学ぶ機会を提供します。さらに、男性も含めた全学での男女共同参画意識の啓発・醸成を進め、女性研究者の求める研究スタイル確立の支援を行います。

セミナーやワークショップの開催

- ≫ 学内外支援制度の紹介
- ≫ 男女共同参画委員会との連携
- ≫ 宮城・仙台地域の父親ネットワークとの連携

相談窓口の紹介

- ≫ 学生相談所
- ≫ 男女共同参画委員会相談窓口
- ≫ 高度技術経営人材キャリアセンターキャリアアップ相談室など

支援要員制度

- ≫ 育児期の教員に支援要員を充当
（杜の都女性研究者ハードリング支援事業との連携）



杜の都女性研究者ハードリング支援事業

女性研究者のキャリアパス形成の障害となる様々なハードルを乗り越えるための諸制度の整備を実施しています。平成18～20年、科学技術振興調整費および大学独自費（総長裁量経費）により推進し、平成21年からは大学独自費（総長裁量経費）により継続しています。

育児・介護支援プログラム

支援要員制度

育児中の女性教員・技術職員のもとへ技術・事務補佐員を派遣します。

ベビーシッター利用料補助制度

女性研究者がベビーシッターを利用する際の経費の一部を補助します。

環境整備プログラム

女性研究者の職場環境の改善

大病院内にある病後児保育室「星の子ルーム」が全学で利用できるよう支援しています。

次世代支援プログラム

次代を担う女性科学者の育成“サイエンス・エンジェル”

身近なロールモデルとして小中高校生への理系進路の啓発活動を行うと同時に本人の女性研究者の卵としてのスキルアップを図ります。



TOHOKU LEADING WOMEN'S JUMP UP PROJECT

ジャンプアップ対象部局

理学／薬学／工学／農学／情報／生命／環境
医工学／金属材料研究所／流体科学研究所／電気通信研究所
多元物質科学研究所／ニュートリノ科学センター／電子光物理学センター

CASE 1 新規採用者

- ≫ 研究費の付与（1年目150万円、2・3年目100万円）
- ≫ 採用部局への資金援助（3年間人件費の半額あるいは300万円の低い方）
- ≫ 部局メンター費20万円の付与
- ≫ 複数メンター制による助言・指導
- ≫ 研究スキルアップ補助金（国外・国内）応募資格
- ≫ ハードリング支援事業利用など
- ≫ 各種セミナーへの参加
- ≫ 女性研究者SNSへの参加

CASE 2 既存籍教員

- ≫ 研究スキルアップ補助金（国外・国内）応募資格
- ≫ 各種セミナーへの参加
- ≫ 女性研究者SNSへの参加
- ≫ ハードリング支援事業利用など

CASE 3 研究者・ポスドク・博士課程学生

- ≫ 各種セミナーへの参加
- ≫ 女性研究者SNSへの参加
- ≫ サイエンス・エンジェル活動への参加
- ≫ 育児時のベビーシッター制度の利用 など